

# 田んぼは日本を救う！

## 生物多様性と有機農業とミミズ

生物多様性条約COP10に向けてのシンポジウム

●田んぼは単に人間のための食糧を生産するだけの場所なのではないでしょうか？四国の東海岸、徳島県小松島市の田んぼには、毎年、ナベツルが越冬しにやって来ています。ナベツルは命をつなぐ餌場として、また安心できる居場所として田んぼを使い、田んぼが単に人間のためだけのものではないことを教えてくださいました。

●農業は人の力だけで成り立っている産業なのではないでしょうか？田んぼの土を耕すイトミミズは、お米の命が、田んぼにすまうたくさんの命の営みの総和の上に成り立っていることを教えてくださいました。

●昨年、韓国で開催されたラムサール条約締結国会議の中で、水田農業を湿地の賢明な利用方法として評価する「水田決議」が採択されました。田んぼは多様な命を育むゆりかごであり、そこでわたしたち人間の命の糧であるお米も共に生産できるということは、環境と食糧生産の調和したモデルとして人類に明るい未来の姿を提案するものでした。

●農業生産の現場では、多様な生きものの力を借りた営農活動の試みが少しずつではありますが、はじまっています。生きものの視点からお米を食べる消費者とお米をつくる生産農家とが共通の価値観を見出し、田んぼの価値が国民全体のコンセンサスになっていくように努力していきたいと思えます。

■日本最大のミミズ養殖場の見学会  
株式会社 豊徳

■講演 原耕造 NPO法人生物多様性農業支援センター  
生物多様性農業と民間直接支払

■講演 稲葉光國 NPO法人民間稲作研究所  
有機稲作の実際

■講演 岩渕茂紀 NPO法人田んぼ  
田んぼとイトミミズ

■講演 小祝政明 ジャパンバイオフィーム  
有機農業とミミズ培土

■講演 農林水産省関係者  
生物多様性と農業（予定）



■日時：平成22年1月11日（月）  
■場所：小松島市総合福祉センター  
■参加費：無料

- 主催：徳島有機農業推進協議会
- 共催：NPO生物多様性農業支援センター・NPOとくしま有機農業サポートセンター
- 協賛：コープ自然派徳島・コープ自然派事業連合・株式会社阿波有機・株式会社豊徳
- 後援：小松島市・JA東とくしま
- お問い合わせ  
電話：088-665-8181（コープ自然派徳島内徳島有機農業推進協議会）  
メール：01nakamurat@shizenha.co.jp

田んぼは日本を救う！

1月11日（月）  
徳島県小松島市



1月11日  
タイムスケジュール

●第1会場：日本製紙内 株式会社 豊徳

徳島県小松島市豊浦町1 TEL：0885-37-2222

10：00～10：30 開場・受付  
 10：30～11：30 日本最大のミミズ養殖場の見学会

●第2会場：小松島市総合福祉センター

徳島県小松島市横須町1 1-7 TEL：0885-33-2255

12：00～13：00 開場・受付  
 13：00～14：00 開会あいさつ  
 14：00～14：40 講演 生物多様性農業と民間直接支払 原耕造氏  
 14：40～15：20 講演 有機稲作の実際 稲葉光國氏  
 15：20～16：00 講演 田んぼとイトミミズ 岩淵茂紀氏  
 16：00～16：10 休憩  
 16：10～16：50 講演 有機農業とミミズ 小祝政明氏  
 16：50～17：30 講演 生物多様性と農業  
 17：30～18：00 閉会あいさつ

注意  
 午前の第1会場と  
 午後の第2会場は  
 3キロほど  
 離れています

ミミズふん土を利用した  
有機栽培稲苗用培土

微生物性にすぐれている腐植土 窒素は少なめで安心  
 ミミズので水溶性ミネラルが豊富 よって根の発育がいい  
 三つ子の魂百まで 稲がはじめに出会う土として理想的な土  
 ミミズふん土は生物多様性農業を応援できるかもしれない

●お問い合わせ 株式会社 豊徳  
 (0885)37-2222 <http://mimizunotuti.com/>



ミミズ養殖暦  
35年